



17日の登校時、何人かの子どもは声をからして登校していました。運動会の練習で一生懸命声を出しているからでしょう。それでも気持ちよい挨拶が交わされます。

1年生の朝の会では、

「今日、三つ練習したら、あさっては本番です。がんばりましょう。」

「はい！」

担任と子どもたちの間で、このようなやりとりがされていました。

子どもたちも初夏の日差しの中の、連日の練習で疲れがたまっているにちがいません。しかし、何か一つの向かう先があると頑張れます。

いよいよ明後日は運動会本番です。

## 運動会に向けて～応援し、応援されながら～

さかのぼって、15日の水曜日のこと。この日は、運動会予行練習の日でした。

玉入れで、2年生の子が1年生の子をおんぶして、かごに玉が届くように気を遣ってあげたり、綱引きで相手に引っ張られ、転んでしまっても互いに笑い合ったり、何をしても楽しめる子どもたちを見ていると幸せな気持ちになりました。【その日のブログはこちら→】



特に印象的な場面です。

1・2・3年生による表現運動「Mela! ～君のヒーローになりたい～」では、その演技をしている前方で、上級生が手拍子をたたいたり、踊ったりしながら、ダンスを盛り上げました【左写真】。

そのお礼でしょうか。それとも、ただ上級生のダンスを見て、自ずと体が動き出したのでしょうか。4・5・6年生の表現運動「2024 本山っ子ソーラン ～Show Time!～」の時には、次は下学年の子どもたちが、運動場の前に来て、見よう見まねで踊っていました【右写真】。伝統とは、何も格式張ったものではなく、子どもたちの中に、憧れ、憧れられながら受け継がれていく、こうした心のつながりなのだと思います。



17日の朝、運動会に向けての最後の全体練習を行いました。その最後に、体育主任から全校生に伝えた言葉です。

みなさんは、運動会テーマにある「一生けん命」とはどうすることだと思いますか。

私は、人と比べることではなく「今の自分の10の力を、10出し切ること」だと思います。失敗をしてもかまいません。10の力を出し切ることを続けていると、いつの間にか自分の力が11にも12にもなっています。

この2週間の運動会練習は、みんなが10の力を出し続けた素敵な2週間でした。

ありがとうございました。